


「地域で子どもの育ちを支えよう」

～家庭教育支援チームの立ち上げ～

P T A名称	下関市立玄洋中学校P T A	
所在地	下関市彦島本村町二丁目 8-1	
学校地域の概要・組織	<p>本州の最西端、平家滅亡の哀史を秘め、武蔵・小次郎ゆかりの巖流島をいだいた彦島の北部に本校は位置している。下関市街とはわずか10mの水門をへだてて、下関漁港と相対し、関彦橋ならびに彦島大橋で結ばれ、交通は極めて便利である。さらに、歴史的文化財や自然景観にも恵まれており、地域住民の教育への関心が高く、学校への協力も献身的である。校区内には、本村小学校、西山小学校の2校があるが、児童数は減少傾向にあるうえ、例年10名程度の児童が近隣の中等教育学校や私立中学校へ進学するため、本校の生徒数も減少傾向にある。</p> <p>P T Aの組織は、会長1名、副会長16名の執行部、及び5つの専門部の中心的役割を担う常任委員が中心となり運営している。また、P T A会員全員が5つの専門部のいずれかに所属し、「一人一役」を担って活動に参加している。</p>	
研究テーマ	<p>地域全体で子どもの育ちを支えるために、本村小学校・西山小学校・玄洋中学校の3校P T Aが主体となり、小学校と中学校の保護者の縦のつながりや、同一学校の保護者や近隣の学校の保護者との横のつながりをつくる家庭教育支援活動を展開する。活動を通して家庭教育の大切さを知り、保護者同士の連携を深めることを目的にした家庭教育支援チームを立ち上げる。</p>	
成果と課題	<p>参加した保護者の回答アンケート結果によると肯定的な意見が多く、保護者同士のつながりを深めることができたと感じている。今年度はP T A執行部が中心となって行ったが、今後はP T A専門部の活動として継続的な取組ができる組織づくりをめざしたい。学校運営協議会のコーディネーターや地域の方々等、新しいメンバーで家庭教育支援チームを構成していくことでさらに活動が豊かになると考える。</p> <p>コロナ渦で先の見えない現状であるが、出来ない理由を探すより、できる方法を前向きに考えていくことが何より大切だと感じた。</p>	

活動内容

○「家庭教育支援研修会」

家庭教育支援をテーマに研修会を開催した。
毎年開催されていた地域協育ネット事業を利用することで、より多くの保護者に参加を呼びかけることができた。3校のPTA・学校運営協議会のメンバーも参加し「本で心をつなぐ」



という講演と「絵本のよみあい」のワークショップを行った。参加者は温かい会場の雰囲気の中で絵本を通してコミュニケーションを育むことができた。

○「就学時健診・予備入学・学校見学における【子育てサロン】の開催」

新入学児童の保護者に先輩保護者や学校支援ボランティア（地域の子育て経験者）の方がつながりを持ち、気軽に子育ての相談できる「子育てサロン」を開催した。初めての試みであったが、保護者同士にしかわからない情報もたくさんあり、入学前に準備する物や部活動のことなど具体的な話で、大変盛り上がっていた。



○「PTA合同環境整備作業」

おやじの会を中心に、お互いの学校の環境整備を助け合える体制づくりを進めた。3校のPTA環境整備活動に合わせて、草刈り機等の道具を持ち寄りお互いの活動に加勢をした。マンパワーでスムーズな環境整備ができた。また、一緒に活動することでPTA同士のつながりも深めることができた。



○「3校合同協議会」

3校が共通の目的をもって活動するために、定期的な会議を開催した。
学期に1度、3校の校長・教頭・PTA会長が集まり、行事の企画・調整や活動報告をした。